

令和 3 年

第 3 回（9 月）波佐見町議会定例会

町政に対する一般質問

波佐見町議会

通告順位	1	通 告 者	4 番 岡 村 達 馬 議員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 新型コロナ拡大における学校生活及び学習指導について</p> <p>(1) 授業、体育、クラブ活動等への取り組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常の授業等で一番気を遣っていることはなにか。 ・ 体育やクラブ活動等への対応や対策はなにか。 ・ 児童・生徒に見られる体調の変化や健康状態の把握は。 <p>(2) 学習活動への取り組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内公立小・中学校の学力調査公表の結果を受けての考察は。 ・ 県内及び郡内の順位をどうとらえるのか。 ・ 今後の学習指導方法への対応と対策はなにか。 <p>2. 通学路の安全対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 登下校時の交通安全対策と通学路の見直しの頻度は。 <p>3. 8月豪雨による公共土木災害、及び農林業災害の状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 被災箇所、被害状況と被害額はどの位になるのか。 ・ 早急に町単独でも復旧工事を行う被災地はあるのか。 ・ 部分復旧より災害関連事業等で全体的に見直しをする被災地はないのか。 ・ 災害復旧業務に対しての課内の対応や他課からの応援、または災害復旧係等の必要性を感じるか。 		

通告順位	2	通 告 者	6 番 城 後 光 議 員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 自然災害対応について</p>		
	<p>先月の長期間にわたる豪雨により、町内にて民家、農地、町道など多くの被害が生じている。</p>		
	<p>大雨による自然災害は頻発しており、常日頃からの災害に対する備えが求められる。</p>		
<p>(1) 災害発生時に、町民や自治会、及び役場などで被害情報を共有する仕組みを導入できないか。</p>			
<p>(2) 町内の土砂崩れ危険箇所に監視カメラ、主要河川に簡易水位計を設置できないか。</p>			
<p>(3) 災害発生時、高齢者の避難支援として、巡回車両を運行できないか。</p>			
<p>(4) 災害発生後の迅速な被害状況把握のために、ドローンを導入できないか。</p>			
<p>(5) 指定避難所となる公共施設に対して、公衆W i - F iを導入できないか。</p>			
<p>(6) 各地区にある公民館に対して、災害情報を知らせる仕組みを導入できないか。</p>			
<p>(7) 民家の裏山にあり、危険性がある樹木について、伐採費用を支援する考えはないか。</p>			
<p>2. 町内におけるインターネット環境の推進について</p>			
<p>即時の対応が求められる社会的課題が増える中、インターネットを使った双方向での情報共有の仕組みを強化することは、行政サービス充実のためにも必要不可欠である。</p>			
<p>(1) 庁内における I C T利活用を推進するため、専門官の派遣を受ける考えは。</p>			
<p>(2) 事業者向けにインターネットの利活用を推進する、専属の地域おこし協力隊員を受け入れできないか。</p>			
<p>(3) 町ホームページの抜本的な見直しを行う考えはないか。</p>			
<p>(4) 情報の送受信に特化して、所属部署を超えた職員チームを構成する考えはないか。</p>			
<p>(5) 町外の I T関連事業者を受け入れるため、コワーキングスペースを整備できないか。</p>			
<p>3. イノシシを中心とした有害鳥獣捕獲について</p>			
<p>昨年度の有害鳥獣捕獲頭数は、地区別にどのような状況になっているか。</p>			

通告順位	3	通 告 者	3 番 田 添 有 喜 議 員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 教育行政について</p> <p>近年、時代の流れもあり、教育界では大きな変化の時を迎えており、コミュニティ・スクールやGIGAスクール構想など、学校現場においてはかなり苦慮されていると思う。</p> <p>本町では、教育に対する関心が高く、教育施設の充実は他に誇れるものである。しかしながら、児童・生徒の学力の定着や通学路の安全確保が大きな課題である。</p> <p>そこで次のことを問う。</p> <p>(1) 令和3年度全国学力・学習状況調査の結果を受け、本町の課題は何か。</p> <p>(2) 本町の学力低下の課題として、読解力をあげている。 また、取り組みとして「学び合い」の推進を教育長は答弁された。 各学校の取り組みは。</p> <p>(3) 各学校の「読書」への取り組みは。 また、学校図書館図書標準は満たされているのか。</p> <p>(4) 本年度、児童・生徒にタブレットが配布された。家庭学習におけるタブレットの活用状況は。また、宿題はどのような形で出されているのか。</p> <p>(5) 現在、各学校にはかなりの教育機器が設置されている。 電子黒板や大型テレビ、パソコン等の活用状況はどうか。</p> <p>(6) 通学路の安全確保と点検から見える課題は。</p> <p>2. 防災行政について</p> <p>コロナ禍の中、住民の生活は不安な状況が続いている。</p> <p>そのような中、8月の長期にわたる大雨は、住民の恐怖を一層大きくした。</p> <p>そこで次のことを問う。</p> <p>(1) 「地域防災計画」の今後の変更はあるのか。あるとするなら、どのような視点で変更を行うのか。</p> <p>(2) 河川の総点検を行うべきと考えるがどうか。</p> <p>(3) 村木川の稗木場郷春田橋から山角橋までの法面の改修工事の予定はどうか。</p>		

通告順位	4	通 告 者	11番 藤 川 法 男 議 員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 安心安全なまちづくり対策について</p> <p>新型コロナ感染が発生し、早くも2年が経過しようとしている中、待望のワクチン接種が75歳以上から始まり希望の光が見えてきた。</p> <p>しかし、第5波により若者を中心に再び感染が増加している。加えて自然災害も発生しており、今後町民の皆様が少しでも安心感を持てる政策を示してほしい。</p> <p>(1) 全国的に小中学生が多く感染しており、家庭内感染も増加しているが、ワクチン接種について国・県の方針を踏まえて、本町の考えはどうか。</p> <p>また、接種拒否の割合はどの位で、その対応はどのようにするのか。</p> <p>(2) 本年度末から来年度に向けてのコロナ禍の経済対策として、本町の基幹産業である農業、窯業、観光事業等の関係者からどのような要望や支援が望まれているのか。</p> <p>また、特に窯業界は、各イベントの中止や大型店舗の時短営業などその影響が深刻である。</p> <p>本町としての方針はどうか。</p> <p>(3) 豪雨による土砂災害等が各地域で発生しており、行政や自治会等での被害の確認作業等が行われているが、自治会や関係機関への被害報告はいつになるのか。</p> <p>また、災害の規模により国・県・町と工事内容や支援が異なるが、今回はどのような支援や方向性を想定されるのか。</p> <p>2. 新庁舎建設事業について</p> <p>現庁舎の老朽化に伴い、新庁舎建設の計画が進められている中、パブリックコメント（説明・意見公募）が行われ意見が集約された。</p> <p>(1) どのように対処するのか。</p> <p>(2) 意見提出者に対して、どのような形で回答するのか。</p> <p>また、その時期はいつか。</p> <p>(3) 教育委員会の移転等は、内容次第では担当課である新庁舎建設推進室では、権限が及ばない面があると思う。</p> <p>教育委員会と町長部局と連携し、対応すべきと思うがどうか。</p>		

3. シルバー人材センターの支援について

シルバー人材センターにおける仕事の意義は、超高齢化社会に入り誰もがいつまでも活躍できる社会づくりである。

また、高齢者の社会参加の促進が生きがいを持ち社会貢献となっており、それがひいては医療・介護費の削減につながっている。

- (1) 今後も働く意欲のある高齢者の受け皿として、支援の継続や拡大が必要であると思うがどうか。
- (2) シルバー人材センターへ公共からの発注依頼や要望があると思うが、状況と課題は。

通告順位	5	通告者	9番 北村清美 議員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 8月豪雨による被害状況等について</p> <p>8月11日からの大雨が九州をはじめ、各地に甚大な被害をもたらした。幸いにも本町では、人的な被害はなかったものの、地すべりなど大きな被害を受けた地区がある。</p> <p>そこで次のことを問う。</p> <p>(1) 本町の被害状況と被害額は。</p> <p>(2) 避難所の実態と地すべり地区の避難者の状況は。</p> <p>(3) 地すべり地区の今後の復興計画は。</p> <p>(4) 避難所運営における問題点と反省点は。</p> <p>2. 高齢者対策について</p> <p>今後、人口減少と併行し、高齢者人口の割合が急速に増加することが予想される。</p> <p>誰もが波佐見町に居住してよかったと思える施策の一つとして、他の自治体にはない高齢化社会に対応したまちづくりが必要であると考えます。</p> <p>そこで次のことを問う。</p> <p>(1) 本年度から高齢者タクシー利用券が配布されているが、対象者と利用状況は。</p> <p>(2) 予約制乗合交通運行事業、運転免許証自主返納事業、及び高齢者タクシー利用券の問題点と今後の方針は。</p> <p>(3) 本町は、高齢者福祉を今後どのように考えているのか。</p> <p>3. 住環境整備対策について</p> <p>本町は、公共下水道と合併浄化槽の設置を推進されているが、現状はあまり進んでいない。</p> <p>そこで次のことを問う。</p> <p>(1) それぞれの設置状況は。また問題点と今後の方針は。</p> <p>(2) 各々の補助金と一般会計繰入金状況は。</p> <p>(3) 特に中山間地域の合併浄化槽設置対策か、町が設置する共同合併浄化槽は考えられないか。</p>		

通告順位	6	通 告 者	7 番 横 山 聖 代 議 員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. より多くの町民が避難し安全を確保するための避難所運営について</p> <p>現在、ペットの数が15歳未満の子どもの数より多いと言われている。 また、単なるペットという位置づけを超えて家族や友人の一員としての伴侶動物として認識されるようになっている。</p> <p>被災時には、飼い主はペットと同行避難することが原則となっているが、知らない方が多く、受け入れ体制も十分とは言えない。</p> <p>(1) 昨年9月の台風10号及び先月8月14日の大雨特別警報で、ペットと同行避難された方はどのくらいいたか。</p> <p>(2) 本町ホームページにも、「ペット避難所」のお知らせが掲載されているが、まだ周知が行き届いていない。今後、同行避難をスムーズに進めるためにもどう取り組むか。</p> <p>(3) 本町は、避難所で避難者とそのペットが同室内スペースで避難することを原則禁止しているものの、昨年も先月も、避難所に配置された職員の対応により、同伴避難をされている方がいた。</p> <p>ペット同伴避難は、ペット救済の為ではなく「家族の一員であるペットの存在を必要としている人」を支援するという意味があると考えます。</p> <p>今後は、同伴避難のスペースを事前に確保すべきではないか。</p> <p>2. 広報のあり方について</p> <p>現在の町の情報伝達の媒体として、広報紙・回覧板・防災無線・ライン@がある。</p> <p>自治会未加入世帯には、広報紙や回覧板は、配布されず、防災無線は、申請した世帯に設置することになっている。</p> <p>また、防災無線では朝夕、放送されているが、何かと忙しい時間帯であり聞き取れないことも多く、別の部屋にいと聞こえない状況にある。</p> <p>(1) 自治会未加入世帯にも、広報はさみを配布できないか。</p> <p>(2) 朝夕の防災無線の放送内容を、ライン@にあげることはできないか。</p>		

通告順位	7	通告者	1番 澤田昭則 議員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 新型コロナ対策について</p> <p>新型コロナウイルスで桁違いに感染力が強いデルタ株による第5波の感染急増を受け、長崎県では、県独自の緊急事態宣言ステージ5の延長と国のまん延防止等重点措置の指定を受けることになった。措置区域に指定された長崎市、佐世保市をはじめ他の地域も依然として生活面や経済的において、かなり厳しい状況である。県境を越える移動など、外出自粛の徹底の要請もあるが、本町は、地理的に県境に位置し、日常生活において徹底は難しいと考える。</p> <p>また、県内全域での時短要請や外出自粛に伴い、飲食店や遊興施設以外にも間接的ではあるが、協力金の対象とならない事業所等もある中で、経営に最も大きな影響が出ており、今後も厳しい状況が続いていくものと想定される。</p> <p>そこで次のことを問う。</p> <p>困っている町民や事業所、商店などに向けた本町独自の緊急経済支援等はできないか。</p> <p>2. 県立川棚高等学校の支援策について</p> <p>第2回（7月）議会臨時会で可決された一般会計補正予算 波佐見高等学校支援事業（入学金支援 町内10万円、町外5万円、事業予算合計額750万円、大学等受験料補助・3万円、事業予算合計額150万円程、部活動遠征費補助・100万円）で間接的支援をされることは、波佐見高校存続のための迅速な対応という点で重要である。</p> <p>しかし、大切な町財源から支出される事は、同じ波佐見中学校出身生徒が波佐見高校以外の近隣の公立高校に入学する場合を考えた時に、等しく行政サービスを受ける権利を持つという点で、不公平感により町民から不満が生じる可能性がある。</p> <p>そこで次のことを問う。</p> <p>同じ郡内にある県立川棚高等学校に入学する波佐見中学校卒業生徒（例年15人程度）にも、公正公平になるよう経済的に何らかの支援はできないか。</p>		

3. 町営住宅の環境整備について

現在、昭和40年代に建設された町営住宅は、老朽化が著しく、また、床面積も狭く現在の住宅需要に合っていない。今後は、時代に合った計画が必須であり、早急な建て替えや改修が必要である。

また、高齢者や障害者に向けての住宅環境の整備等による配慮も併せて必要である。

町営住宅の建て替えや維持管理について、今後の計画はどのようなになっているか。

通告順位	8	通告者	10番 脇坂正孝 議員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 教育委員会事務局の新庁舎移転について</p> <p>新庁舎完成後、教育委員会事務局は新庁舎へ移転することで、計画が進められている。</p> <p>しかし、移転については、町民の利用が不便になるなど多くの課題があると考ええる。</p> <p>町長としてどう考えるか。</p> <p>(1) 移転はなぜ必要なのか。メリット、デメリットはどうか。</p> <p>(2) 移転を懸念する関係団体や町民の声に、どう対応したのか。</p> <p>(3) 職員不在の施設は、貸し館と同様である。総合文化会館には、職員の常駐が必要であると考えるがどうか。</p> <p>(4) 移転後の管理は、委託等で計画してあるが、委託等にはなじまず、その経費は無駄であると考えるがどうか。</p> <p>2. 小中学校施設の整備について</p> <p>脱炭素化社会が叫ばれている。</p> <p>児童・生徒の環境学習の場として、また、財政負担の軽減等のため、学校施設に太陽光発電設備を設置できないか。</p> <p>3. 公有地の環境整備について</p> <p>町内の公有地には、雑草が繁茂している。</p> <p>草刈等の清掃作業は、関係者の減少や高齢化で課題も多いと聞く。</p> <p>次の公有地について、草刈や剪定作業を今後どう維持していくのか。</p> <p>(1) 河川堤防（桜づつみ含む）及び町道の法面</p> <p>(2) 都市公園、町の施設の緑地等</p>		

通告順位	9	通告者	2番 岡村 真由美 議員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 8月の記録的大雨について</p> <p>(1) 防災避難計画は機能したか。</p> <p>(2) 災害発生の変因となり得る空き家の把握はできているか。</p> <p>(3) 防災無線による情報提供、呼びかけは万全か。</p> <p>2. 町道及びその法面の除草について</p> <p>(1) 町道の法面の除草を町で負担できない理由は何か。</p> <p>(2) 各自治会で対応して上手くしている事例があるか。</p> <p>3. 波佐見高校存続のための支援策について</p> <p>(1) 入学金の補助は有効な支援策といえるか。 学校現場の反応、生徒及び保護者の反応を把握しているか。</p> <p>(2) 美術・工芸科支援の具体策についてはどう考えているか。</p>		

通告順位	10	通 告 者	13番 尾上和孝 議員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 波佐見町講堂について</p> <p>(1) 現在の管理体制はどうなっているのか。 今後、指定管理者制度などで運営できないか。</p> <p>(2) Y o u T u b e では、皆さんが自由に演奏できる企画が流行っており、東京都庁や駅など、あらゆる所に「ストリートピアノ」が置かれている。 講堂は、音響も良く有志による音楽イベントも何度か開催されている場所でもある。 今後、講堂に「ストリートピアノ」を置く事により、活性化につながれると思うがどうか。</p> <p>(3) 2025年に長崎県にて国民文化祭が開催されるが、サテライト会場となる波佐見町講堂における計画は。 また、講堂周辺の景観整備を国民文化祭が行われる2025年までに整備を行う必要があると思うがどうか。</p>		

通告順位	1 1	通 告 者	8 番 三 石 孝 議 員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 西ノ原土地区画整理事業について</p> <p>(1) 現在の進捗状況は。</p> <p>(2) 今後の計画は。</p>		